

主要事業実施工程表(5-2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 確かな学力の育成</p> <p>全ての学校・園に学力向上検討委員会の設置や学力向上推進員を指名して子どもたちの学力向上を図るとともに、各学校の取り組みを情報発信します。 学力向上に関するHPを開設している学校の割合 9.9% 22 100%</p> <p>全県を通じた読書活動として、「読書の生活化プロジェクト」を実施するなど、読書習慣の定着を図ります。 幼児・児童生徒及び教職員の読書冊数（累計） ～ 1000万冊 家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合 小5 70.2% 22 73.2% 中2 60.6% 22 63.6%</p> <p>就学前教育と小学校教育のスムーズな接続のために、保・幼・小学校の適切な連携の在り方についての研究を進め、成果を普及します。</p> <p>小中学校のよりスムーズな接続と学力向上を図るため、小中一貫教育についての研究を進め、成果を普及します。</p> <p>小中学校において、各学年等の特性に応じ、少人数学級編制を実施するとともに、少人数グループ指導やティームティーチング指導のための教員配置を行います。 少人数学級（35人を上限とする学級編制）の拡大 小学1・2年 中学1年に新規導入 一定規模以上の学級を有するすべての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置 ～ 22 25人以上の学級で継続実施</p> <p>小学校外国語活動助手を市町村教育委員会へ派遣し、平成23年度より完全実施される小学校外国語活動の円滑な導入に向けた取り組みを進めます。</p> <p>退職教員や社会人等を小・中学校及び高等学校へ非常勤講師として配置し、社会経験を活かしたキャリア教育の補助や新学習指導要領の先行実施への対応充実など、教員が子どもと向き合う時間を拡充し、児童生徒の実態や学校の実情に即した教育の展開を図ります。</p>	推進			
	実施		推進	
	推進			
	推進			
	推進			
			実施	
			実施	
<p>2 豊かな心の育成</p> <p>児童生徒の豊かな心を育むため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校に配置するとともに、新たにスクールソーシャルワーカーを置くなど、いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応する支援体制の充実を図ります。 スクールカウンセラーの全公立小・中学校配置 全公立小・中学校に配置 スクールソーシャルワーカー数 - 22 6人</p>	推進			

主要事業実施工程表(5-2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>3 健やかな体の育成 「徳島県食育推進計画」に基づき、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、食に関する指導の充実を図ります。 栄養教諭の配置市町村数（再掲） - 全市町村</p> <p>学校体育の指導を充実させるとともに学校・家庭・地域が連携し、子どもに運動習慣や規則正しい生活習慣の定着を図ります。また、子どもの体力・運動能力向上対策委員会を設置し、体力向上支援プランを策定するなど、子どもの体力向上に向けた取り組みを推進します。 体力向上支援プランの策定・実施 ²¹策定</p>	→			
	推進			
<p>4 幼児教育の推進 「徳島県幼児教育振興アクションプラン」を推進し、幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育を充実します。また、幼稚園・家庭・地域・行政等が連携し、総合的な幼児教育の展開を図ります。 預かり保育実施率（公私立） ²¹6.7% ²²7.7%</p>	→			
	推進			
<p>5 活力と魅力のある学校づくり 中学校と高等学校の6年間を通して、生徒の個性や能力を伸ばす中高一貫教育を推進します。 「中高一貫教育」の全県展開 2校 ²²3校</p> <p>多様な能力・適性などを多面的に評価するため、高校入試において、特色化選抜の考え方を取り入れた制度を推進します。</p> <p>学校の新たな伝統ともいえる「スクールアイデンティティ*」を創成することにより「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンリーワンハイスクールを育成します。 「オンリーワンハイスクールパワーアップ事業」実施校（累計） - ²¹30校</p> <p>教員のICT指導力の向上を図るため、ICTを活用した授業実践についての研修を実施します。 ICTを活用した授業実践の研修参加者数（累計） ~ ²²800人</p> <p>総合教育センターのテレビ会議システムを用いた大学教員等による公立学校への遠隔指導を推進します。</p>	→			
	推進			
	推進			
	推進			
	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（5-3 地域とともに歩む学校づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 開かれた学校づくり 地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するため、自己評価や学校関係者評価を活用した、学校評価システムの充実に改善を図ります。 学校評価結果（前年度分）の公表率（小・中・高校） 43% 2280%</p> <p>学校に「コミュニティ・スクール」を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。 「コミュニティ・スクール」モデル校数（累計） - 2210校</p> <p>「放課後子ども教室*」の開設を促進し、勉強やスポーツ・文化活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動等の推進を図ります。 「放課後子ども教室」実施数 - 2260教室</p> <p>学校における学習活動や部活動などを地域ぐるみで支援する体制を整備します。 学校支援地域本部の設置市町村数 - 228市町村</p>	→			
<p>2 安全・安心な学校づくり 学校施設を「よく・ながく」使い続けるために、耐震基準に適合した災害等に強い安全な学校施設の整備と耐震改修を推進します。 県立高等学校施設耐震化率（再掲） 31% 2275% 市町村立小中学校施設耐震化率（再掲） 48% 2275%</p> <p>災害発生時における児童生徒等の安全を確保するため、防災教育を推進するモデル校を指定し、児童生徒の防災対応能力の向上を図ります。 防災教育推進モデル校の指定（累計） 6校 2124校</p> <p>県立防災センターが主体となって、小中学校からの要望に応じて県職員等が出向く「小中学校まなぼうさい教室」の開催や大学、民官企業等と連携した防災教育教材の開発のほか、熱意のある先生を「防災教育推進パートナー」として登録・支援するなど、小中学校における防災教育に対する総合的な支援を行います。 「防災教育推進パートナー」の登録（累計） - 22100人</p> <p>地域住民の積極的な参加による学校安全ボランティア（スクールガード）活動等の幼児・児童生徒の安全確保を図る取り組みを継続的に推進します。 学校安全ボランティア（スクールガード）活動の実施 ~ 22 全小学校区で継続実施</p> <p>通学路等における児童・生徒の安全対策を推進するため、「子ども110番の家（車）」や「自主防犯活動用自動車（青色回転灯装着車）」を活用したパトロールの実施団体などのボランティアと連携し、子ども見守り活動を強化します。</p>	→	→		
			→	→
				→
				→
				→
				→
				→
				→
				→
				→
				→
				→

主要事業実施工程表（5-4 学び立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 学習機会の提供</p> <p>「徳島県立総合大学校（まなびーあ徳島）」を創設し、県が実施する講座や施設の情報提供をワンストップで行うとともに、高等教育機関や企業、NPO、住民、市町村など多様な主体とのパートナーシップによる運営を行い、学習機会のさらなる充実を図るなど、県民のニーズに応じた学習を総合的に支援します。</p> <p>徳島県立総合大学校の創設 開校</p> <p>地域における生涯学習のリーダーとして、また総合大学校の講師やスタッフとして運営を担っていただく「とくしま学博士」の認定制度を創設します。</p> <p>「とくしま学博士」の認定制度の創設 創設</p> <p>「徳島県立総合大学校（まなびーあ徳島）」をはじめ、県内の各種生涯学習情報をインターネットによって提供します。</p> <p>生涯学習情報システムへのアクセス件数 93,384件 22 500,000件</p> <p>県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」を構築します。</p> <p>ネットワークの構築 22 構築</p>	検討	開校	推進	
		創設	推進	
	推進			
	整備 推進			構築
<p>2 家庭・地域における教育の充実</p> <p>子どもの自主的な読書を促進するため、読書環境の整備を図ります。</p> <p>読書活動を推進するイベントへの参加者数（累計） 803人 22 4,500人</p> <p>生活や社会、自然体験を通じて、社会性や思いやりを育む地域の教育力の向上を図るため、地域で活動できるコーディネータを養成します。</p> <p>地域教育力再生コーディネータ養成講座受講者数（累計） - 22 282人</p>	推進			
	推進			
<p>3 環境学習の推進</p> <p>「学校版環境ISO*」の取得を核とした体験的・実践的環境学習を推進します。</p>	推進			
<p>4 社会性を育む職業教育の推進</p> <p>中学生・高校生の社会的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、企業等の協力によりインターンシップを行うなど、社会人としての資質を高める学習を推進します。</p> <p>教育・産業連携キャリアアップ実践校数（延べ数） - 9校</p> <p>中学校における職場体験の実施率 7.7% 22 8.5%</p>	推進			

主要事業実施工程表（5-5 未来を拓く青少年づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 主体的に行動できる元気な青少年の育成 青少年のニーズやライフスタイルの多様化に対応するため、「徳島県青少年センター」の再編整備を行います。 青少年活動拠点施設の整備・充実 検討 22 運用</p>	検討	整備		運用
<p>青少年活動に対する技術等を習得する機会を提供し、青少年リーダーを育成します。 指導者養成講座参加者数（累計） 80人 22 400人</p>	実施			
<p>青少年自身が非行防止について協議し、自らのメッセージを同世代の青少年や保護者等に発する機会を提供します。 青少年非行防止メッセージ事業参加者数（累計） 15人 22 90人</p>	推進			
<p>2 人材育成・支援体制の整備 学校、家庭、地域社会や関係機関が一体となって、非行防止と健全育成に取り組みます。 「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動参加者数（累計） 700人 22 3,400人</p>	推進			
<p>学校、家庭、地域社会が共通の理解・認識のもとに、青少年に体験の場や機会を提供することにより、自立性や社会性を育成します。 少年の日事業*参加者数（累計） 1,170人 22 7,000人</p>	実施			
<p>「阿波っ子スクールサポートチーム（ASST）*」活動を充実強化します。</p>	推進			
<p>3 就業の支援 若年者の就業を総合的に支援するため、「とくしまジョブステーション」において、求人情報の提供や職業相談等を実施します。 とくしまジョブステーションを活用した若年者の就職件数（累計）（再掲） 829人 22 3,000人</p>	実施			
<p>若年無業者（ニート）等の就業を支援するため、「徳島県若者サポートステーション」において、専門家による個別相談等を実施するとともに、支援機関のネットワークを活用し、支援が必要な若年者の適切な誘導を行います。 徳島県若者サポートステーションにおける相談件数（累計）（再掲） - 22 5,000件</p>	実施			

主要事業実施工程表(5-6 子どもを育てるなら “とくしま,, づくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 行動計画の推進と後期計画の策定 次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成を目指し、集中的・計画的な取り組みを着実に推進するとともに、後期行動計画を策定します。（再掲） 行動計画の策定・推進 ・前期計画 策定 21 推進 ・後期計画 検討 21 策定</p> <p>行動計画の県民への浸透を図り、子育て支援へ参画を促進する普及啓発活動を実施します。</p>	推進		策定	推進
<p>2 男女の出逢いの場づくり 「きらめき出逢い・交流促進事業」を推進し、官民協働による男女の出逢いの場づくりを支援します。 「出逢いきらめきセンター」会員団体登録数 - 22 140団体</p>	推進			
<p>3 人材の育成 児童福祉業務に携わる人材の育成を総合的に図ります。 研修会受講者数 ~ 22 毎年2,000人</p>	推進			
<p>4 子育て機能の向上 「子育て総合支援センター」において、子育て関連組織等の取り組みを総合的にコーディネートし、子育て環境の向上を図ります。 支援対象団体数 318団体 22 410団体</p> <p>大型の保育用遊具等を子育て支援団体等に貸し出すことにより、地域における子育て支援活動を支援します。</p>	推進			実施
<p>5 児童虐待防止対策の推進 要保護児童対策地域協議会を活用し、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。 「市町村要保護児童対策地域協議会」設置率 50% 22 100%</p>	順次拡大			
<p>6 要保護児童への支援 様々な事情により家庭で育てられない子どもに対して、児童福祉施設や里親制度を活用し、より家庭的な環境での養育を図ります。 里親登録数 39人 22 60人</p>	推進			

主要事業実施工程表(5-6 子どもを育てるなら “とくしま,, づくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程(年度別事業計画)			
	H19	H20	H21	H22
<p>7 次代の親づくり 次代の親となる世代に子育てに関する知識について、学習機会及びふれあい体験の機会を提供し、子育てに対する関心を高めます。</p>	推進			
<p>8 保育サービスの拡充 子育てをしている家庭にとってニーズの高い一時・特定保育などの保育サービスの拡充を図ります。 「一時・特定保育事業*」実施市町村数 15市町村 22 全市町村 預かり保育実施率(公私立)(再掲) 6.7% 22 7.7%</p>	順次拡大			
<p>9 地域の子育て機能の強化 地域にある保育所等を利用して、育児相談に応じたり、子育て情報の提供、子育てサークル・ボランティアの育成、支援等を進めます。 地域子育て支援センター等の設置数 74箇所 22 100箇所</p> <p>子育て家庭を地域全体で支える体制を整備するため、育児の相互援助活動を行うファミリー・サポート・センターの市町村の枠を超えた広域化を進めるなど、その設置促進を図ります。 ファミリー・サポート・センター事業実施市町村数 7市町 22 15市町村</p>	順次拡大			
<p>10 放課後児童の健全育成 昼間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保する放課後児童クラブ*の拡充を図ります。 放課後児童クラブの設置数 102クラブ 22 139クラブ</p>	順次拡大			
<p>11 不妊治療の経済的負担の軽減 次世代育成支援の一環として不妊治療の経済的負担の軽減のために不妊治療費について助成します。 不妊治療費助成限度額の拡大 年間10万円 年間20万円 不妊治療費助成件数(累計) 243件 22 1,500件</p>	推進			
<p>12 乳幼児等の医療に係る経済的負担の軽減 次世代育成支援の一環として、子育て家庭の経済的負担を軽減するために、全国トップクラスとなる乳幼児等の医療費助成を実施します。 全国トップクラスとなる乳幼児等医療費助成制度 7歳未満児 22 堅持</p>	推進			

主要事業実施工程表(5-6 子どもを育てるなら “とくしま,, づくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1.3 多子世帯等の経済的負担の軽減 勤労者向け協調融資制度において、出産や2人以上の子育てを行う勤労者の教育資金等の低利融資を行うことにより、勤労者の経済的負担の軽減を図ります。 「阿波っ子すくすくはぐくみ資金」新規貸付件数（累計） - 22 800件</p>	推進			→
<p>1.4 「ワーク・ライフ・バランス」の展開（再掲） 地域の企業や事業所の応援による子育て支援運動を推進するとともに、関西等で実施されている同種事業との相互利用ができるよう広域的な取り組みを進めます。 「Go!Go!くっつき隊応援し隊*」県内協賛店舗等数 - 22 800事業所</p>	推進			→
<p>県内事業所による一般事業主行動計画の策定・届出を促進することにより、仕事と子育て等が両立するための環境整備を進めます。 一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所) 22事業所 22 150事業所</p>	推進			→
<p>仕事と家庭の両立ができる職場づくりなどに積極的な企業等を認証、表彰することにより、企業等における次世代育成の取り組みを促進します。 「はぐくみ支援企業」認証件数（累計） - 22 100事業所 「はぐくみ支援企業」表彰件数（累計） - 22 80事業所</p>	推進			→

主要事業実施工程表（5-7 食育先進県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p><u>1 「とくしま型食生活」の推進</u> 全市町村における総合的な食育の取り組みを支援します。 栄養教諭の配置市町村数 - 全市町村 「食育推進計画」作成実施市町村数 - 22 全市町村</p>	推進			
<p><u>2 食育推進リーダーの育成</u> 学校や地域における食育を効果的に進めるため、地産地消料理や郷土料理などを指導するリーダーを育成します。 食育推進ボランティア数 1,251人 22 1,500人</p>	推進			
<p><u>3 生産現場や地域における交流促進</u> 消費者と生産者の交流を通じ、互いの理解を深める取り組みを進めるとともに、県産品の活用促進を図ります。 地産地消協力店数 120店 22 240店</p>	推進			
<p>コンビニエンスストアと連携して食育の取り組みを推進します。 食育推進協力店数 - 22 100店</p>	推進			
<p><u>4 学校における食育の推進</u> 学校における食育を推進するため、学校給食における地場産物の活用を推進します。 学校給食における地産地消推進市町村数 6市町村 全市町村 <u>学校給食における地場産物活用率</u> <u>5.0% 22 5.5%</u></p>	推進			
<p>学校における食農教育の取り組みを支援し、食の大切さを学ぶ体験の場づくりを推進します。 食農教育に取り組む市町村数 9市町村 22 全市町村</p>	推進			

主要事業実施工程表（6-1 “みんなが、とくしま体制づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 ユニバーサルデザインの推進 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ることにより、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。</p>	推進			
<p>2 男女共同参画の推進 「徳島県男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の様々な施策を積極的に推進します。</p> <p>「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、配偶者からの暴力防止や被害者の保護を図るための施策を積極的に推進します。</p>	推進			
<p>3 高齢者対策の推進 新しい「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（とくしま長寿プラン）」を策定し、豊かな長寿社会づくりのため高齢者施策を推進します。 計画の策定・推進 策定・推進</p>	推進	策定・推進	推進	
<p>4 障害者対策の推進 「新徳島県障害者施策長期計画」「徳島県障害福祉計画」に基づき、障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図り、障害者の地域での自立を支援します。 計画の改定・推進 「徳島県障害福祉計画」の改定・推進</p>	推進	改定・推進	推進	
<p>5 外国人が住みやすいまちづくりの推進 県内在住の外国人が地域社会の構成員として共生する多文化共生社会を目指し、本県の実情に対応した取り組みを推進するための基本指針等を策定します。 「とくしま国際フレンドシップ憲章」の制定 制定</p>	制定	推進		
<p>6 こども・女性対策の一体的な推進 児童虐待及び配偶者からの暴力等が大きな社会問題となっている状況にかんがみ、「中央児童相談所」と「女性支援センター」の機能を統合し、新たに「徳島県こども女性相談センター」を設置するなど、「こども」と「女性」に関わる様々な問題にワンストップで対応できる体制整備を推進します。</p>			推進	

主要事業実施工程表（6-2 男女共同参画立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 拠点施設における男女共同参画の推進 「男女共同参画交流センター」を核として、総合的かつ計画的に男女共同参画を進めます。 「男女共同参画交流センター」利用者数（累計） - 22 200,000人</p>	推進			
<p>2 女性の政策・方針決定過程への参画の促進 政策・方針決定過程への女性の参画を促進するため、県審議会委員等の女性の登用を引き続き進めます。 県審議会等に占める女性の割合 25.0% 22 50%</p> <p>県庁女性職員の県政運営への参画を推進します。 女性役付職員数 96人 22 200人</p>	推進			
<p>3 人材の育成 専門家や起業家など様々な人材の育成を図るため、講座等を実施します。 「フレアとくしま100講座」参加者数（累計） - 22 20,000人</p> <p>農業経営における個人の地位及び役割を明確にします。 家族経営協定*締結数 587戸 22 8,500戸</p>	実施			
<p>4 普及・啓発の推進 県民の理解と認識を深めるため、講演会やセミナーを開催するなど、普及・啓発を推進します。 「フレアとくしま100講座」開催数（累計） - 22 400件</p>	推進			
<p>5 配偶者等からの暴力対策の推進 配偶者等からの暴力の防止や被害者の救済と自立支援を図るため、関係機関等との連携強化や「配偶者暴力相談支援センター（DVセンター）機能」の充実を図るほか、若年層を対象とした「デートDV*防止セミナー」などを行います。</p>	推進			

主要事業実施工程表(6-3 高齢者いきいき「生涯現役」とくしまづくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 地域福祉のリーダーの養成 高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう能力の再開発を援助するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。 シルバー人材バンク（生きがいづくり推進員）の登録者数（累計） 90人 22 500人 シルバー大学院における資格取得者数（累計） 66人 22 300人 「シルバー大学院」ICT講座入学者数 25人 21 75人</p> <p>地域の高齢者パワーのより積極的な活用等を図り、合わせて本県のような魅力の発信等を促進するため、シルバー大学院のサテライト講座を推進します。 シルバー大学院のサテライト講座の開設 開設</p>	順次拡大			
<p>2 「徳島県健康福祉祭」によるスポーツ・文化活動の推進 県健康福祉祭の充実により、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図ります。 県健康福祉祭に参加しているスポーツ及び文化交流競技団体に登録している高齢者数 7,000人 22 9,000人</p>	開設	推進		
<p>3 就業機会の確保・増大等 働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、地域社会の活性化を図ります。 「シルバー人材センター」の就労延日人員数 49万人 22 57万人</p> <p>中高年齢者の就業を総合的に支援するため、「とくしまジョブステーション」において、求人情報の提供や職業相談等を実施します。 とくしまジョブステーションを活用した中高年齢者の就職件数（累計）（再掲） 102人 22 280人</p>	推進			
<p>4 介護サービスの人材育成 介護サービスの公平で円滑な提供を図るため、介護支援専門員の人材養成を図ります。 介護支援専門員の養成者数（累計） 3,987人 22 5,000人</p>	順次拡大			
	実施			
	推進			

主要事業実施工程表(6-4 障害者「自立と社会参加」のとくしまづくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 障害福祉サービスの充実</p> <p>障害児のいる家庭が安心して子育てできるよう、「障害者自立支援法」の制度見直し予定の平成20年度まで、障害児施設の利用者負担の軽減を図ります。 障害児自立支援に向けた利用者負担の軽減 負担軽減 負担軽減</p> <p>障害者の福祉の向上を図るため、障害の種別にかかわらずサービス提供体制を充実します。 指定サービス提供事業所*の指定件数 - 22 650事業所</p> <p>障害福祉サービスを充実するための人材を養成します。 サービス管理責任者研修の受講者数（累計） - 22 470人 相談支援従事者研修の受講者数（累計） 676人 22 1,500人</p> <p>障害者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、居宅サービスの充実を図ります。 補助犬の登録頭数（累計） 9頭 22 14頭</p>	実施			
	順次育成			
	順次育成			
	推進			
<p>2 障害者の社会参加の推進</p> <p>「障害者交流プラザ」を活用し、障害のある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を推進し、地域社会で生きがいを実感できる仕組みづくりを推進します。 「障害者交流プラザ」の利用者数（累計） - 22 500,000人</p> <p>障害者が社会参加する際に必要な、移動手段を支援するための施策を推進します。 「ふれあい徳島号（リフト付きバス）」の利用人数 ~ 22 8,000人</p>	推進			
	推進			
<p>3 障害者の自立と地域生活への移行の支援</p> <p>障害者に対し総合的な支援を行うための相談支援体制を充実します。 指定相談支援事業所の指定件数 - 22 50事業所 障害児に対する療育相談件数 1,789件 22 2,500件</p>	順次育成			

主要事業実施工程表(6-4 障害者「自立と社会参加」のとくしまづくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>障害者の働く意欲と能力に応じて働ける社会づくりを推進するため、就労訓練施設の生産品の販路拡大などによる就労支援機能の強化により、施設利用者の工賃のアップを図り、自立支援を推進します。</p> <p>施設利用者の工賃（月額） 約14,000円 22 約21,000円</p>	推進			
<p>障害者に対する地域生活や就労について、より一層の支援を図るため、地域共同作業所の指定障害福祉サービス事業者への移行*を推進します。</p> <p>地域共同作業所の指定事業者への移行件数（累計） - 22 30件</p>	推進			
<p>障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、障害者雇用を促進するための憲章や具体的な施策を示した「<u>障害者雇用促進行動計画</u>」に基づき、事業主をはじめ広く県民の意識啓発を図るなど、障害者の職業的自立を支援します。（再掲）</p> <p>「障害者雇用促進憲章」の制定 制定（憲章） 民間企業の障害者雇用率 1.41% 22 法定雇用率以上</p>	推進			
<p>4 高次脳機能障害者への支援</p> <p>高次脳機能障害者に対する機能訓練や地域生活等に関する相談機能等の充実を図るため、関係者による支援ネットワークの構築を図ります。</p> <p>支援ネットワークの構築 22 構築</p>	検討・準備			構築
<p>5 発達障害者への支援</p> <p>発達障害者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、「発達障害者支援センター」の充実強化をはじめとした支援体制や各種施策を推進します。</p> <p>「発達障害者支援センター」の相談件数（累計） - 22 2,000件</p>	推進			

主要事業実施工程表（6-5 共助・共生のまちづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 ひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの推進 ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らすために、「地域包括支援センター」を中心とするひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの設置を支援します。 「ひとり暮らし高齢者等支援ネットワーク」の設置率 - 22 100%</p>	→			
<p>2 認知症高齢者に対する支援等の推進 地域の住民が認知症について理解し、地域全体で認知症高齢者を支えていくための支援体制の推進を図ります。 認知症サポーター数（累計） - 22 8,000人</p>	→			
<p>3 介護予防に重点を置いた健康づくりの推進 介護予防の普及啓発や介護予防リーダーの養成など、介護予防に重点を置いた健康づくりを推進します。 介護予防リーダーの養成者数（累計） - 22 400人</p>	→			
<p>4 障害者のコミュニケーション支援体制の充実 障害者のコミュニケーション手段を確保するため、手話・点訳等の専門的知識・技能を有する各種ボランティアの育成や県民への理解と普及を促進します。 県登録手話通訳者数 46人 22 75人</p>	→			
<p>5 障害者のスポーツ活動等の推進 障害者のスポーツ・レクリエーション活動や生きがいづくりの支援強化を推進します。 人材バンク活用による障害者スポーツ指導員の派遣件数（累計） - 22 200件</p>	→			
<p>6 人と動物がともに暮らせる地域づくり 人と動物がともに暮らせる、うるおいと喜びのある地域づくりを推進するため、「動物愛護推進協議会」を設置し、動物の愛護及び適正な飼養を推進する団体、動物愛護推進員を支援します。 動物の愛護及び適正飼養にかかる普及啓発を図るため、地域リーダーとなる「動物愛護推進員」の委嘱を進めます。 「動物愛護推進員」委嘱数 - 22 50人</p>	→	設置・推進	推進	→
	→			

主要事業実施工程表(6-6 ユニバーサルデザインとくしまづくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程(年度別事業計画)			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の推進 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ることにより、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。 ユニバーサルデザイン表彰数(累計) - 22 30件 <u>パーキングパーミット(身体障害者等用駐車場利用証)の交付</u> ²¹交付開始</p>	推進			
<p>2 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づくユニバーサルデザイン点検・評価を行い、公共施設の改善や公共事業1件1UDの取り組み等、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。 ユニバーサルデザイン化着手都市公園数 - 22 6公園</p>	推進			
<p>3 公共施設等の整備 中山間地域の幅員狭小な道路において、待避所整備に加え、「対向車接近表示システム等」を設置することにより通行の安全性、快適性を確保します。 対向車接近表示システム等設置箇所数 - 22 20箇所</p>	推進			
<p>電線類の地中化や段差のない歩道等の整備を推進します。 電線類を地中化した県管理道路の延長(再掲) 7.0km 22 8.5km 幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率 62% 22 73%</p>	推進			
<p>JR徳島駅周辺の重点整備地区(バリアフリー新法に基づく)において、特定道路となる県管理道路のバリアフリー化を推進します。 県管理の特定道路のバリアフリー化率 15% 22 100%</p>	推進			
<p>藍場町地下駐車場(第1駐車場)にエレベーター等を設置するとともに、郷土文化会館への雨よけつきの歩行路を整備し、利用者の利便性向上を図ります。 藍場町地下駐車場のエレベーター数 1基 ²¹2基</p>		整備	供用	
<p>ユビキタス社会の実現に向け、あらゆる人が自立して「安全」に、「安心」して、「自由」に移動することが可能な社会基盤の調査・研究を進めます。</p>	推進			

主要事業実施工程表（6-7 活力みなぎるとくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>4 活気あるむらづくり</p> <p>耕作放棄地の防止や活気ある農山漁村づくりに向けた地域ぐるみの共同活動や中山間地域の集落協定により、農村集落や農地・農業用水の保全を推進します。 「中山間地域等直接支払制度*」に取り組んだ集落協定数 639協定 21670協定 農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数 - 22100組織</p> <p>農山村地域において、生産基盤と生活環境を総合的に整備することで活気あるむらづくりを実施します。 生産基盤と生活環境が一体的に整備された地区数(累計) 87地区 2295地区</p> <p>住民自らの発想・提案に基づいた事業を柔軟かつ迅速に実施し、農山漁村地域の創意工夫を反映し、地域支援機能の発揮を図ります。 公募型メニューにより事業に取り組んだ実施主体数(累計) - 22130件</p> <p>四国4県が連携し、四国のグリーン・ツーリズムをPRすることにより、高速道路新料金を活用した徳島の農山村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。</p>	順次拡大		推進	
	推進			
	推進			
			推進	
<p>5 魅力ある地域づくりの推進</p> <p>市町村が地域住民と協働で実施する地域の個性を生かした魅力ある地域づくりを支援します。 地域創造モデル事業交付金制度 創設</p> <p>「ふるさと納税制度*」の導入を機に、県内外に「ふるさと徳島」の魅力を一層アピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化し、活力と魅力あふれる徳島づくりを進めます。</p>	創設・運用			
	推進			

主要事業実施工程表（7-1 “にぎわい” とくしま体制づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 広域交流の推進</p> <p>本四道路を活用した地域の活性化を図るため、関係府県市と連携しながら国等に対してさらなる割引制度の拡充や恒久的な料金引き下げを要望するなど、利用しやすい通行料金の実現に向けた取り組みを推進します。</p> <p>国の追加経済対策による「休日の普通車料金1,000円で乗り放題」をはじめとする高速道路新料金を最大限活用し、徳島の経済の活性化やPRを行うため、「高速道路新料金活用戦略」に基づき、「県外からの観光誘客対策」及び「物流活性化による産業振興対策」を推進します。</p> <p>大鳴門橋の通行台数 702万台²² 1,400万台 (²²平成19年度から倍増)</p> <p>県外からの観光入り込み客数 727万人²² 1,450万人 (²²平成19年から倍増)</p> <p>四国4県で本四道路の利用促進策を取りまとめるとともに、その後、関係県及び関係機関による「本四道路利用促進会議」を開催するなど、関係県が一丸となって本四道路の利用促進に取り組めます。</p> <p>近畿圏において、新聞紙面や府県広報紙で本四道路の料金割引制度や本県の魅力をPRするほか、大鳴門橋や明石海峡大橋等を舞台に、兵庫県と共同でイベントを実施するなど、積極的に情報発信を行い、本四道路の利用促進を図ります。また、徳島自動車道についても、イベントの実施等により、利用促進を図ります。</p> <p>徳島空港を発着する航空路線の利便性向上や官民が連携した利用促進策を展開することにより、空港利用を推進します。</p> <p>個性豊かで活力ある地域づくりを支援するため、市町村と連携しながら美しい景観と産直市が楽しめるなど、地域の交流拠点や防災拠点となる「道の駅」の整備を県下全域に展開します。</p> <p>「道の駅」新規選定箇所数 -²² 10箇所</p> <p>徳島小松島港本港地区において、旧フェリーターミナルビル等を交流拠点施設として活用するなど、にぎわいを復活させるため、地域と協働して周辺整備を推進します。</p> <p>徳島小松島港本港地区におけるボードデッキ*等の整備 整備中²² 一部供用</p>	推進			
		推進		
			推進	
				推進
	推進			
	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-1 “にぎわい” とくしま体制づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>すべての人が快適で効率的な都市形成を推進するため、徳島東部都市計画区域において、都市計画見直しの基礎となる調査を実施します。</p> <p>徳島東部都市計画区域の都市計画見直し - 22見直し</p>	基礎調査実施	分析調査実施	都市計画見直し着手	都市計画見直し
<p>都市中心部の活性化を図るため、先導的な中心市街地の再開発事業等を支援します。</p> <p>新町西地区市街地再開発事業の進捗率 - 22 40%</p>	地区採択 都計決定	推進		
<p>2 「e - とくしま推進プラン」の推進</p> <p>「e - とくしま推進プラン」について、「e - とくしま推進会議」において適切に進行管理するとともに、「(財)e - とくしま推進財団」において具体的な課題に取り組むなど、官民一体となって着実にプランを推進します。</p>	推進			
<p>3 観光立県とくしまづくり</p> <p>徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として再構築し、情報発信を行うとともに、地域の魅力を活かした観光地づくりや、地域資源を活用した体験型観光の推進などに官民一体となって取り組むことで、県内外の交流が活発に行われる「観光立県とくしま」の実現を目指します。</p> <p>観光入り込み客数 1,245万人 22 1,50万人</p> <p>高速道路新料金制度導入を最大限に活用するため、県外からの観光入り込み客数の倍増を挑戦目標として、マイカーを利用して来県する観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランの提案など、観光誘客対策を推進します。</p> <p>県外からの観光入り込み客数(再掲) 19 727万人 22 1,450万人</p>	推進			
<p>4 国際交流の推進</p> <p>ドイツ・ニーダーザクセン州との友好提携を視野に入れ、文化、経済、スポーツ、教育などの各分野における積極的な交流と相互協力を推進し、交流人口の増加や地域の振興・活性化を図ります。</p>	推進			友好提携
<p>5 文化立県とくしまの体制づくり</p> <p>「徳島県文化振興基本方針」の推進を図ります。</p> <p>国民文化祭で盛り上がった機運を継続させ、官民が連携して徳島らしい個性豊かな「あわ文化」を創造していく仕組みづくりをコーディネートします。</p>	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-2 交流ひろがるとくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 広域交通ネットワークの整備</p> <p>「徳島空港新時代」の広域交通ネットワークの形成に向けて、徳島飛行場の滑走路拡張（2,500m化）を促進します。</p> <p>徳島飛行場の拡張 整備中 22 供用</p> <p>徳島空港新旅客ビルの整備 - 22 供用</p> <p>徳島の海の玄関として、徳島小松島港の整備を推進します。</p> <p>徳島小松島港沖洲(外)地区（ふ頭）の整備 - 22 整備中</p> <p>徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量 120万トン 22 200万トン</p> <p>近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道（鳴門～阿南間）の整備及び徳島自動車道の追越車線等の付加車線設置を促進します。</p> <p>四国横断自動車道（鳴門～徳島間）の整備 用地取得率14% 22 用地取得率100% ・工事全面展開中(26 供用目標)</p> <p>四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の整備 調査中 22 設計協議中(31 供用目標)</p> <p>四国横断自動車道（徳島東～阿南間）の整備 調査中 22 工事施工中</p> <p>高規格幹線道路と一体となって高速交通ネットワークを形成する地域高規格道路*について、徳島環状道路、阿南安芸自動車道の整備を促進します。</p> <p>地域高規格道路徳島環状道路（延長22km）の供用率 28% 22 60%（暫定含む）</p> <p>地域高規格道路阿南安芸自動車道 （日和佐道路 延長9.3km）の供用率 -（工事着手 5.9km） 22 67%（一部供用6.2km、残区間工事展開）</p> <p>地域高規格道路阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備 未実施 22 調査設計中</p> <p>地域高規格道路阿南安芸自動車道（福井道路）の整備 未実施 22 調査設計中</p> <p>交流の基盤を支える一般国道32号、一般国道55号バイパスなどの主要幹線道路の整備を促進します。</p> <p>一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備 調査中 22 工事施工中</p> <p>一般国道55号阿南道路（延長21km）の整備 バイパス区間（阿南市津乃峰町までの15km）の供用</p> <p>一般国道55号牟岐バイパス（延長2.4km）の整備 調査中 22 工事施工中</p>	促進		完成	供用
	推進			
	促進			
	促進			
	促進			

主要事業実施工程表（7-2 交流ひろがるとくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>陸海空の広域交通ネットワーク形成に向け、空港・港湾と高規格幹線道路などを連結する道路及び施設の整備を推進します。</p> <p>県道徳島空港線（徳島空港～一般国道28号）の整備 整備中²¹ 暫定供用</p> <p>元町沖洲線の整備 元町沖洲線（延長2.7km）の4車線化完成</p> <p>マリンピア沖洲 期事業（土地造成） 事業中²² 概成</p> <p>徳島小松島港津田地区整備事業（土地造成） 調査中²² 整備中</p>	推進			
<p>2 都市部における渋滞対策の推進</p> <p>都市部の慢性的な渋滞を解消するため、徳島市中心部とその周辺地域における放射環状道路の整備を推進します。</p> <p>放射道路（延長約23.2km）の供用率（暫定含む） 68%（供用延長15.8km） ²²80%（供用延長18.6km）</p> <p>常三島中島田線（田宮街道3.8km）の4車線化完成</p> <p>元町沖洲線（延長2.7km）の4車線化完成（再掲）</p> <p>外環状道路（延長約35.0km）の供用率（暫定含む） 44%（供用延長15.4km） ²²66%（供用延長23.2km）</p> <p>徳島環状線（国府工区1.5km）の暫定供用</p> <p>渋滞の著しい交差点の緩和・解消に努めます。 主要幹線道路等における渋滞交差点の箇所数 23箇所²²6箇所</p> <p>踏切の除去により、道路交通の円滑化が図られる鉄道高架事業を、徳島市が実施するまちづくりと一体となって推進します。</p>	推進			
<p>3 公共交通機関の利用促進</p> <p>パークアンドライド等の推進による公共交通機関の利用促進や時差通勤の導入など交通需要マネジメント施策を推進します。</p> <p>路線バス、鉄道等地域の生活路線を運行する事業者に対して支援を行い公共交通網を維持・確保します。</p>	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-3 観光立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 「観光とくしまブランド」の確立</p> <p>「徳島県観光振興条例（仮称）」を制定し、県市町村、観光事業者、県民等が一丸となった観光振興の取り組みを推進します。</p> <p>「徳島県観光振興条例（仮称）」を制定・推進 21 制定・推進</p> <p>多くの観光客に選ばれる徳島を目指して、「庶民遺産」「自然一番」というブランドイメージを広くPRしていくとともに、マスメディアや県人会のネットワーク等を活用した広告宣伝を実施することにより、広く国内外に向けたイメージアップを図ります。</p> <p>観光入り込み客数（再掲） 1,245万人 22 2,150万人</p> <p>「徳島観光ファンクラブ」会員数（累計） 3,418人 22 6,000人</p> <p>「東洋のハリウッド」を目指して、公的関与のフィルムコミッション*を中心に、県内を舞台にしたテレビ、映画、CM等のロケ撮影の支援・誘致を推進します。</p> <p>ロケ支援件数（累計） 88件 22 200件</p>			制定・推進	
<p>2 「おもてなしの国とくしま」づくりの推進</p> <p>個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、鉄道や路線バス、タクシー等を活用した着地型情報の充実を図ることにより、観光客の誘致促進につなげます。また、「東洋のベニス・水の都とくしま」など徳島ならではの観光資源を活用した取り組みを推進します。</p> <p>阿波おどりの活性化を図るとともに、その魅力を国内外へ発信します。</p> <p>県内主要「阿波おどり」入り込み客数 148万人 22 160万人</p> <p>「はな・はる・フェスタ」入り込み客数 20万人 22 28万人</p> <p>本県の持つ豊かな自然や食材、個性ある伝統芸能、伝統技術などの地域資源を、体験などの様々な手法で観光資源として活用するとともに、高速道路新料金を積極的にPRするほか、観光検定合格者等を対象とした研修の実施など県民参加型の観光客誘致を推進します。</p> <p>観光入り込み客数（再掲） 1,245万人 22 2,150万人</p> <p>体験型教育旅行における協議会受入泊数（累計） - 22 5,000泊</p> <p>グリーン（ブルー）・ツーリズムインストラクター数（累計） 16人 22 35人</p> <p>「観光検定」の合格者数（累計） - 22 300人</p>	推進			
	推進			
	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-3 観光立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波観光圏」のPRや観光案内の向上などの取り組みを進め、観光客の来訪滞在を促進します。</p> <p>高速道路による県西部圏域への入り込み客増を図るため、市町や関係団体と連携協力し、都市部や高速道路サービスエリア等で圏域の魅力をPRします。</p> <p>近隣府県等と連携した広域観光・交流を推進します。</p> <p>外国人向けの観光案内所の運営や観光情報の提供を行うことなどにより、外国人観光客の受け入れ態勢の充実を図ります。</p> <p>本県が持つ豊かな自然を活かした剣山をはじめとする自然公園へのアクセスとなる国道、県道の整備を推進します。 観光地へのアクセスルートにおける整備箇所数 - 22 4箇所</p> <p>県内で開催されるイベントの情報等を、県民や全国へ効果的に発信するため道路情報板にイベント情報等を表示します。 イベント情報を表示する道路情報板数 - 22 4.0箇所</p>		推進		
			推進	
	推進			
	推進			
	整備			
	実施			
<p>3 県産品を活用した魅力発信</p> <p>「阿波の逸品」に代表される豊かな農林水産資源等を活用した徳島ならではの魅力的で売れる県産品の創出を行うとともに、コンビニエンスストアをはじめとする販売・流通事業者への販路開拓を支援し、県産品の販路拡大を通じて徳島の魅力を発信します。 「県産品まるごとデータベース・阿波のあるでよネット」 商品数 500品 22 1000品 コンビニエンスストアでの県産品販売コーナー設置数 - 22 20箇所</p> <p>伝統工芸品の展示、実演、体験などを盛り込んだ工芸品展の開催等を通じ、伝統工芸品の販路拡大と産業の振興を図ります。</p> <p>「藍染め・しじら織り製品」を新たにクールビズという視点で全国的認知度を高め、本県の魅力アップと藍染め・しじら織り地場産業の振興を図ります。</p>		推進		
	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-3 観光立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>東京におけるアンテナショップとして、全国初となるコンビニエンスストアとのコラボレーションによる県産品の販売等を行うほか、大阪・名古屋のアンテナショップを活用し、本県の魅力と知名度のさらなる向上を図るとともに、首都圏における新たな出店の検討も進めます。</p>	推進			
<p><u>4 スローライフを体験できる場づくり</u> 棚田や里山など農村景観を形成する貴重な財産の保全・整備・活用による地域コミュニティの新たな醸成と、スローライフを体験できる場づくりを進めます。 「ふるさと水と土指導員」の認定数 31人 2240人</p>	推進			

主要事業実施工程表（7-4 笑顔と活気あふれるとくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 多くの人が集まる大会・会議の開催 にぎわいを創出するため、他県から多くの人が集まる大会・会議を誘致・開催します。 《予定されている大会・会議》 （平成19年度） 国民文化祭（来場者数700,000人） 第20回全国なぎさシンポジウム in 徳島 （参加予定人数約700人） （平成20年度） 地域ICT未来フェスタ(参加予定人数100,000人) （平成21年度） 消費者問題国民会議2009徳島大会 （参加予定人数300人） 第10回川での福祉と教育の全国大会 in 徳島 （参加予定人数500人）</p>	推進			
<p>2 大会・会議の誘致促進 多くの県外の人が集まる大会・会議を行う主催者に対して、 高速道路新料金でより訪れやすくなった徳島をPRするとともに、 開催経費や郷土芸能の招へい費等の支援を行うことで、 その誘致を促進します。 コンベンション（四国大会以上）の参加者数（累計） 76,000人 22500,000人</p>	推進			
<p>3 交流拠点を活用したにぎわいづくり 「渦の道」、「あすたむらんど徳島」、「アスティとくしま」などの交流拠点の魅力を高めるとともに、交流拠点を活用したイベントの充実を図ります。</p>	推進			
<p>4 国際交流による国際化・活性化の推進 ドイツ・ニーダーザクセン州との経済・文化・教育交流や、 中国・広東省、ブラジル・サンパウロ州との文化交流などを通じ、 地域の国際化・活性化を推進します。 ドイツ・ニーダーザクセン州との経済・文化交流等 （平成19年度） ・公式訪問団の派遣 ・阿波人形浄瑠璃の上演 ・合唱団の招へい（おどる国文祭） （平成20年度） ・公式訪問団の受入 ・産業技術総合見本市「ハノーバー・メッセ」への徳島ブースの出展 （平成21年度） ・スポーツ青少年交流 ドイツ・ニーダーザクセン州との友好提携²²提携 中国・広東省との文化交流等 （人的交流の推進） ・国際交流員の受入 （平成19年度） ・文化行政部門の職員の受入 ・公式訪問団の受入 ・広州芸術博物院所蔵作品の文学書道館での展示、 舞踊団の招へい（おどる国文祭） ブラジル・サンパウロ州との文化交流等 （平成20年度） ・公式訪問団の派遣 ・阿波おどり交流・技術指導</p>	推進			

主要事業実施工程表（7-5 e - とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 e - とくしま推進プランの推進</p> <p>「e - とくしま推進プラン」について、「e - とくしま推進会議」において適切に進行管理するとともに、「(財) e - とくしま推進財団」において具体的な課題に取り組むなど、官民一体となって着実にプランを推進します。</p> <p>「(財) e - とくしま推進財団」を活用した産学官地域連携事業数（累計） 3事業 22 50事業</p> <p>国、関係団体、関係市町村等との連携・協力の下、国内最大級の地域情報化イベント「地域ICT未来フェスタ」を開催し、「徳島ならではの」地域情報化の取り組みについて、全国に向けて情報発信します。</p> <p>「地域ICT未来フェスタ」の開催 開催</p> <p>「地域ICT未来フェスタ」により醸成された「産学官」の連携・協働の取り組みを将来につなげ、県民のさらなるICT利活用を促進するため、とくしま地域ICT未来プロジェクトを推進します。</p>	推進			
	開催準備	開催		
			推進	
<p>2 地上デジタル放送とブロードバンドに対応した「全県CATV網構想」の達成</p> <p>すべての県民がどこでもブロードバンド環境を享受できるよう、FTTH（光ファイバ）などの高度情報通信基盤の整備を進めます。</p> <p>ブロードバンドサービス世帯普及率 37.4% 22 60%</p> <p>超高速ブロードバンドサービス（FTTH：光ファイバ）利用可能世帯の割合 63.6% 22 90.0%</p> <p>過疎地域におけるCATVサービス提供市町村の割合 6.9% 22 100%</p>	整備促進			
<p>3 県民のICT利活用能力の向上に資する人材育成</p> <p>市町村やNPO法人等と連携しながら、県民のICT利活用能力の向上に資する人材育成を図ります。</p> <p>シニアITアドバイザー取得者数（累計） 20人 22 200人</p> <p>シニア情報生活アドバイザー登録者数（累計） 11人 22 100人</p>	推進			

主要事業実施工程表 (7-5 e - とくしまづくり)

主要事業名・事業概要・数値目標	工程 (年度別事業計画)			
	H19	H20	H21	H22
<p>4 電子自治体の構築</p> <p>県と市町村が共同で、ICTを活用した行政手続のオンライン化や事務の効率化、迅速化を図る「電子自治体」を構築します。</p> <p>電子カルテシステムの導入・運用する県立病院数 2病院 21 3病院</p> <p>オンライン手続の利用促進 「オンライン利用促進計画」の策定</p> <p>電子申請・届出システムの利用件数 6,322件 22 12,000件</p> <p>電子入札システムの運用 本格運用</p> <p>電子入札システムの市町村との共同運用 - 22 6市町村</p> <p>共用データベースや認証・決裁基盤など、各システムが共通して利用するシステム共通基盤の整備を、順次進めます。</p> <p>総務事務の発生源入力を可能とする総務事務システムを整備し、運用します。 「総務事務システム」の整備・運用 21 運用開始</p> <p>工事や委託業務の成果品等の電子納品を推進し、業務の効率化を図ります。</p>	推進			
	開発		一部導入	
	開発		運用	
	委託業務 一部導入	委託業務 全面实施	工事 一部導入	推進
<p>5 次世代収納基盤システムの導入</p> <p>県税などの公金納付の利便性向上のため、コンビニ納付*、電子納付*、クレジット納付*に段階的に対応可能な「次世代収納基盤システム」を導入します。 「自動車税のコンビニ収納」の整備 検討 21 運用開始</p>		整備	運用	

主要事業実施工程表（7-6 文化立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 優れた芸術文化に触れる機会の充実 「とくしまきらり芸術文化事業」等により、県民が身近に優れた芸術文化（舞台芸術）に触れ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>児童・生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実します。 学校への芸術家等派遣回数（累計） 20回 22 300回</p> <p>博物館・近代美術館の常設展示や国立美術館巡回展等の魅力ある企画展の開催を通じ、広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供します。 博物館・近代美術館入館者数（累計） 248万人 22 330万人</p> <p>鳥居龍蔵*博士の顕彰のあり方を見直し、県民がその業績等に触れる機会を充実します。 鳥居龍蔵記念博物館（仮称）の開館 22 開館</p>	推進			
	推進			
	推進			
	検討	開設準備		開館
<p>2 あわ文化の創造・発信 私たちが受け継いできた貴重な財産である阿波の文化を再認識し、新しいあわ文化を創造・発信するため、インターネット等のメディアを活用して「あわ文化」情報を県内外に発信します。 「あわ文化」情報の発信回数 以降毎年1回以上</p> <p>本県が全国に誇る伝統芸能の県外・海外公演を開催し、あわ文化の発信を行います。 伝統芸能県外・海外公演開催数（累計） 6件 22 100件</p> <p>文化振興にあたっての官民連携を推進します。 文化事業への協力企業数 - 22 10社</p> <p>人形浄瑠璃の一層の振興を図るため、新たな演目の制作に取り組むとともに、伝統芸能を観光資源として活用した地域の活性化を図ります。また、保存・継承と後継者育成のための伝承活動を拡充します。 「阿波十郎兵衛屋敷」入館者数（累計） ~ 22 150,000人</p> <p>平成21年10月3日から11月3日を「阿波人形浄瑠璃月間」と位置づけ、古典作品や新たな取り組みを織り交ぜたジョールリを県内各地で集中的に開催し、県内はもとより、県外（主に関西方面）からの集客に繋がります。 ジョールリ100公演の開催 21 開催</p>	推進			
	推進			
	推進			
	推進			
				開催

主要事業実施工程表（7-6 文化立県とくしまづくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>国民文化祭の成果を踏まえ、「あわ文化」の創造に向けて、県民の主体的な取り組みを促進する公募提案型事業や市町村との連携による演奏会などの事業を盛り込んだ、新たなスタイルの「県民文化祭」を開催します。</p> <p>新たなスタイルの「県民文化祭」の開催 ～ 開催</p>	検討	開催		
<p>「文化立県とくしま推進基金」を活用し、国民文化祭で設定した「阿波藍」「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」「第九」の四大モチーフ全国発信事業等を実施します。</p> <p>「文化立県とくしま推進基金」の創設 創設</p>	検討	創設・実施	実施	
<p>全国でも貴重な中世遺跡である「守護町勝瑞遺跡」について、国・町と連携し、発掘調査を行います。</p> <p>発掘調査面積（累計） 4,800㎡ 22 12,000㎡</p>	推進			
<p>国指定史跡や周辺の文化財をつなぎあわせて、各地の博物館・資料館等と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進めます。</p> <p>文化財ボランティア養成人数（累計） - 22 200人</p>	推進			
<p>歴史的景観を保全し、活用する取り組みを推進するなかで、地域の活性化を図ります。</p> <p>歴史的景観（史跡を含む）の国指定・選定数 9地区（うち史跡7地区） 22 13地区（うち史跡10地区）</p>	推進			
<p>3 文化の担い手づくり</p> <p>あわ文化や近現代の優れた芸術作品に直接触れあう機会を設けるとともに、絵本の読み聞かせ講習や、史跡巡り、ワークショップ、古文書解読等の事業により、次代のあわ文化の担い手を育みます。</p> <p>文化の森文化施設普及事業の開催回数（累計） ～ 22 800回以上</p> <p>文学書道館の講座開催回数（累計） ～ 22 160回以上</p>	推進			
<p>高校生を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行うとともに、伝統芸能の文化発信活動を支援します。</p>	推進			

主要事業実施工程表（7-7 とくしまスポーツ王国づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>1 スポーツによるにぎわいづくりの推進</p> <p>「徳島スポーツビレッジ」などのスポーツ施設や、自然環境を活用して、スポーツ大会や合宿の誘致を進めることで、スポーツを通じたにぎわいづくりを推進します。</p> <p>スポーツ大会、合宿の誘致件数 16件 22 40件</p> <p>市町村等と連携協力し、プロスポーツを活用したスタジアムのにぎわい創出や、本県を全国にPRする施策を展開します。</p> <p>県民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るとともに、本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信できる「とくしまマラソン」を開催し、新たなにぎわいづくりを実現します。</p> <p>「とくしまマラソン」の開催 21開催</p> <p>県南部圏域にある自然環境や人的資源を活用することにより、県南部圏域をアウトドアスポーツのメッカにし、地域ブランド力の向上や交流人口の増加を図ります。</p> <p>アウトドアスポーツのインストラクター・ガイドを業とする個人・団体数 6団体 22 10団体</p> <p>アドベンチャーレース*などのアウトドアイベントの開催 21開催</p>				
<p>2 競技力向上対策の推進</p> <p>全国大会での躍進を目指すスポーツ表彰・褒賞制度を創設します。</p> <p>「スポーツ表彰・褒賞制度」の創設 創設</p> <p>競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図り、競技力の向上を進めます。</p> <p>国民体育大会天皇杯順位 46位 22 30位台</p> <p>「競技力向上スポーツ指定校制度」により、有力選手を特定の公立高校へ集め、指導者の体制を整備するとともに、中学・高校の連携強化を進めるなど、競技力の基盤強化を図ります。</p> <p>中学・高校連携による競技力向上連携ゾーン数 - 22 16ゾーン</p>	推進			
	推進			
	準備	開催		
	推進			
	創設	推進		
	推進			
	推進			

主要事業実施工程表（7-7 とくしまスポーツ王国づくり）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H19	H20	H21	H22
<p>本県出身選手が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、優れた素質を持つジュニア選手をトップレベルの競技者へ育てる一貫指導システムの構築とトップ指導者の養成を図ります。</p>			推進	
<p>3 生涯スポーツの推進 「する」「見る」「支える」など多様なスポーツへの取り組みを促進するため、「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会による、誰もが楽しめるスポーツイベントなどへの助成や情報発信などを行います。 イベント等助成数 - 22 20件</p>	推進			
<p>市町村等が設立する「総合型地域スポーツクラブ」の育成を支援するとともに、スポーツを活用した健康づくりの体制を整備し、みんなが楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。 総合型地域スポーツクラブの設立数 13クラブ 22 26クラブ 健康づくり実践プログラムの作成・モデル事業の実施 21～実施</p>	推進			
<p>4 生涯スポーツの拠点づくり 生涯スポーツの拠点づくりのため、県南等における運動公園の整備を推進します。 南部健康運動公園の整備 整備中 22 テニスコートエリアの整備完了 橘港小勝・後戸地区の緑地整備（スポーツ・レクリエーション振興ゾーン） - 22 整備中</p>	推進			

用語解説（H21 版改善見直し分）

預かり保育

幼稚園において、教育課程に係る教育時間終了後等に、希望する幼児を対象に行われる教育活動。

カーボン・オフセット

事業者や個人が、自らの温室効果ガス排出量を認識し、省エネ活動や環境負荷の少ない交通手段の選択など削減のための努力を行った上で、削減が困難な量について、他の場所における、排出削減量・吸収量の購入や削減活動の実施により、その一部又は全部を「埋め合わせる（オフセット）活動」。具体的には、植林等の森林整備や太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の導入などによる埋め合わせが考えられる。

がん診療連携拠点病院

地域におけるがん医療の連携の拠点として厚生労働大臣が指定する病院。平成21年3月末現在、都道府県拠点病院として県立中央病院、地域拠点病院として徳島大学病院及び徳島赤十字病院が指定されている。

周産期医療体制

周産期とは、妊娠満22週から生後1週未満までの期間をいい、この期間の母体、胎児、新生児の異常や緊急事態に備えた、産科・小児科の一貫した総合的な医療体制をいう。

とくしま経済飛躍ファンド

徳島県の産業振興、地域経済の活性化を図るため、官民協力により創設した基金のことであり、国債などで運用し、その運用益を有効に活用し、県内中小企業者等が行うLED、地域資源、農工商連携関連分野における事業展開を支援。

パーキングパーミット（身体障害者等用駐車場利用証）

障害者や妊産婦等の歩行困難者が、身体障害者等用の駐車場を利用しやすくするための証明書のこと。

リチウムイオン電池

エネルギー密度が高く、高電圧で、電圧低下につながるメモリ効果が起こらず、自己放電が少ないなどの特性を有し、携帯電機機器などの幅広い分野で使用されており、自動車分野など更なる用途拡大が見込まれる充電式電池。

DV（ドメスティックバイオレンス）

配偶者（事実婚や元配偶者も含む）や恋人など、親密な関係にある又はあった人から加えられる暴力のこと。身体的暴力のほか、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力などがある。デートDVは結婚・同居していない若年層の恋人間におけるDVのことをいう。

OJT研修

on-the-job training 職場訓練、職場指導。
職場での実務を通じて行う研修。